

香美市協働推進計画(案)に対する意見について
募集期間:令和5年1月30日(月)～2月24日(金)

No.	提出日	市民からの意見	回答
1	2月24日	「協働のまちづくり」は行政と市民が対等の立場で力を合わせてこそ、実現します。香美市協働推進計画案(※以下 案)は、そのための仕組みづくりである環境整備と、市民・行政双方の意識啓発をしていく計画であると読み取りました。意識啓発だけで終わらないのは良いと思います。	ありがとうございます。 ご意見のとおり、協働のまちづくりに向けた環境整備についての計画として策定しました。
2	2月24日	全体として、もう少し何をやるのかが見える具体的な記述があれば・・・と思いました。条例であれプランであれ、成文化が目的となってしまうよう注力する必要があると思います。そのため計画推進のスタート地点で、市民各層にどんなニーズがあって、香美市にどんなリソースがあるかを出し合い、よく議論することが大事だと思います。	具体的な取り組みについては、今後協働事業に取り組んでいく中で、検討していきます。その際には、ご意見のとおり、市民ニーズ、香美市の強みや特性についてよく議論したいと思います。
3	2月24日	(案)の6ページの表に「委託」や「指定管理」が協働の形としてあげられていますが、市の業務委託＝協働というのは違和感があります。これまでやってきた業務委託、指定管理事業の中には、住民福祉の観点から見てサービスが後退しているところがありはしないでしょうか。 協働推進計画に入れるのであれば、これまでのやり方が適性だったか、「より効果的に」運営されてきたのかを検証する必要があると思います。「協働」には見返りを求めずに汗をかくという部分があり、それが自然発生的に醸成されるような街であれば素敵なお事だと思います。もちろん有償ボランティアも否定するものではありません。	「委託」や「指定管理」は、市民に、行政にはない特性等を生かして事業や施設の管理を行っていくことを期待して委ねる、「協働」の大事な形態であると考えます。 ご指摘のようなサービスの後退がないかを検証しながら、効果的な事業の執行に努めていきます。
4	2月24日	(案)は市民がまちづくりに能動的に参加する事を促しています。そのためには行政への信頼が欠かせません。市行政への信頼があってこそ「協働」はなり立つと思います。市民から様々な要望や請願が上がったとき、それが正当なものであれば応えること、応えようとする姿勢を見せることが肝要だと思います。行政にアクセスした時、どういう対応をされるかで市民は「良い街だ」と思ったり、「言っても無駄」と嫌になったりします。入り口で離れたら「協働のまちづくり」とはならないと思います。	基本方針4協働意識の醸成(2)市職員の意識向上の取り組みの際に、今回のご意見を取り入れた啓発を行います。 また、市民から信頼される職員を目指し、職員研修担当課等と連携しながら、取り組みを進めていきたいと思っています。
5	2月24日	文書全体、よくまとめられており委員各位のご尽力に敬意を表します。この議論と計画推進が「住民自治基本条例」制定へと結びついていきますように願っています。	ありがとうございます。 頂いたご意見を参考に、計画推進に努めて参ります。